

日本電設工業

2000円/日 職務手当加算

登録基幹技能者の処遇改善

11月からそれぞれ2、3件に制度を検証し、3月に確
の現場で試行し、基幹技能者
の役割・職務の検証と基幹技
能者の評価方法、基幹技能者
現場管理制度を導入する対象
現場の拡充と全国展開につい
ても検討する。12年2月をめ
「現在、社員に約70人、主要
な協力会社に約20人の基幹技
能者がいるが、来年5月が最
終となる基幹技能者の特例講
習や登録電気工事基幹技能者

の認定を促す(田中常務)。人程度まで協力会社の基幹技
営業統括本部の施工現場で50名者を増やす考え。

日本電設工業(井上健社長)は、登録電気工事基幹
技能者による現場管理制度を導入する。「大規模、小
規模の現場に基幹技能者を配置し、工程、品質、安全
管理の業務を補佐すること」で、より質の高い施工の実
現と原価を低減する」もので、合わせて基幹技能者の
処遇を改善する。基幹技能者の職務手当として、1
日当たり2000円を外注費とは別に協力会社の請負
金額に加算して支払い、電気技能者(電工)の平均年
収を約50万円アップする。11月から数現場を選んで試
行し、2012年4月から営業統括本部が施工する一
般電気工事の現場を対象に本格導入する。



井上社長

「制度を導入することで、協
力会社の人材を確保、育成し、
現場管理能力を高める」(田
中均常務経営企画本部長)。
対象現場は、①協力会社と
して主任技術者が専任(請負
金額2500万円以上)で常
駐し協力会社にとって大規模
な現場②同社が元請けとして
請け負った大規模な現場③同
社の主任技術者が非専任(請
負金額2500万円未満)で
同社が基幹技能者の配置を必
要とした小規模な現場——と
する。質の高い施工を実現し、
原価を低減するため、配置技
術者と作業員との調整役、他
業者と調整、作業員の立場に
立った提案や管理に当たる。
協力会社にとって大規模な
現場として請負金額5000
万円以上、同社が元請けとし
て請け負う大規模現場として
請負金額3億円以上になると
みられ、金額ベースで同社の
受注・売上高の6割を超える
という。

H23. 10. 17

建設通信新聞